

市町村指定文化財取材票<表>

取材日	2023年	10月	8・14日	(記入者) 渡辺 明彦	
取材参加者	石井	井本	小倉	島田	茶谷
	西田	三谷	本井	宮本	山口
	渡辺				
取材対象先	奈良市：大安寺四丁目地蔵堂の木造地蔵菩薩立像				

所在地	奈良市大安寺4丁目965-1				
所有者(取材 対応者)名	大安寺東之町自治会 **様 **様 (個人情報守秘)		連絡先 大安寺東之町自治会 **様 ☎ ** *		
	取材申込 申込先・行政名など：大安寺東之町自治会 ***様				
市町村 指定文化財	彫刻 1 軀	木造地蔵菩薩立像 1985(昭和60)年3月7日指定			
	建造物 棟	名称(指定年月日)			
文化財指定理由	像高160.5cmの仏像で、下半身に量感があり、衣文は深く刻むが柔らか味があるなどの特徴から、平安時代前期の作と考えられる。近世に面部や両腕などが補修されたが、大安寺に関する平安時代の彫刻は珍しく、一木造の彫刻としても貴重であるなどの理由から奈良市より文化財として指定された。				
文化財の状況					
防火対策	設備・対策・点検・通知方法			記入者の感想	
	地蔵堂の門前に消火器が1台設置されている。 火災発生時の初期活動は大安寺町の消防団を中心に対応、防火訓練も毎年欠かさず行われ、近隣にある消防署からも指導にいられてい			近隣の各住宅の門前には消火器が設置されており、消防団や消防署の協力のもと防火対策は十分にされていると考えられる。	
獣害対策	被害の有無・対策など			記入者の感想	
	地蔵堂前の道路は交通量が多く、住宅も密接しているためか獣害による被害の報告はない。 7-8年前に白蟻対策を実施、2-3年前には庇や壁の改修工事を実施されている。			大安寺町には自治会とは別に、評議委員会があり、地蔵堂も含めた文化財の維持管理に関して、計画的に実施されている。	
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	地蔵堂の創建については不明であるが、平安時代には大安寺の別院であった可能性があり、室町時代に大安寺が火災に遭った際に、数体の仏像がこの地蔵堂や近くの護摩堂に安置されたとされている(大安寺郷土史：2008(平成20)年3月 大安寺地区自治連合会発行)。現在は周辺の7-8戸の住民が、3-4か月ごとに2人1組の輪番制により地蔵堂の管理をされている。お話によると毎月23日の地蔵講や毎年7月23日の地蔵盆の際には開錠され、地元の人々や近隣の融福寺の住職がお参りされている。				
取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)					
木造地蔵菩薩立像が安置されている地蔵堂は、かつては広大な伽藍を有した大安寺の敷地内に存在したとされており、住民の方々の大安寺所縁の文化財に対する保護意識の高さを感じた。恒例の地蔵盆では子供たちにお菓子が振る舞われるとお聞きしたが、伝統行事の継承が今後の文化財の保存・継承に繋がっていくことが期待される。					

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	10月	8・14日	(記入者) 渡辺 明彦	
取材参加者	石井	井本	小倉	島田	茶谷
	西田	三谷	本井	宮本	山口
	渡辺				
取材対象先	奈良市：大安寺四丁目地蔵堂の木造地蔵菩薩立像				

<写真撮影許可済>

文化財指定名 木造地蔵菩薩立像

文化財（正面写真）	文化財（角度を変えて、写真）
 <p>脇侍とともに</p>	 <p>立派な天蓋</p>
文化財周辺の様子	奈良市教育委員会による指定文化財の説明

 <p>地蔵堂</p>	 <p>解説掲示板</p>
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域の歴史や特徴を記入

室町時代末期に「大安寺」が火災に遭ったときに5体の仏像と4体の四天王像がこの地蔵堂や護摩堂に安置され、その後「馬頭観音像」は「大安寺」の大師堂の本尊とされ、他の8体の仏像は明治になって建てられた奈良国立博物館に保存された(『大安寺郷土誌:平成20年3月発行』より)。地蔵菩薩立像は像高160.5cmの一木造の仏像で、下半身に量感があり、衣文は深く刻むが柔らか味があるなどの特徴などから、平安時代前期の作と考えられる。近世に面部や三道部などが彫り直されるとともに、両腕などは後に補修されている(地蔵堂前の『解説掲示板』より)。

地蔵堂は旧東之町にあり、名称は多間院地蔵堂。平安時代、地蔵菩薩や多間院という名称からこのころの「大安寺」の別院であった可能性がある。大安寺郷土誌によると地蔵堂の多間院の旧跡について「正徳年間当村有志者熊凝彌平治なるもの再興し、元伽藍の地蔵尊を安置して地蔵堂と号した。山城国乙訓郡栗生光明寺の末寺となる。浄土宗なり。」と記されていて、江戸時代には浄土宗の西山派に属していたことがわかる。現在はこの地区の尼講の人々十数名が毎月24日にお参りされ、また7月23日の地蔵盆には地元の人々がお供えをし、お参りされる。またこの日は「数珠くり」法要も行われる(『大安寺郷土誌』:平成20年3月発行より)。